

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106－102	高等学校	地理歴史	地理総合	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
81 山川	地総081－902	わたしたちの地理総合 改訂版		

1. 編修の趣旨及び留意点

現在、インターネットの発達により世界の状況を瞬く間に知ることができるようになる一方、グローバル化により温暖化や感染症、難民、貧富の差の拡大など、国境をこえて広がる課題が山積しています。本書は、持続可能な社会づくりを担うための地理の資質・能力を培うよう、編修しました。世界各地の多様な文化を理解し、国際社会における地球的規模の課題に対して、生徒が興味・関心をいただき、主体的に課題を追究・解決することをねらいとするテーマを豊富に取り上げています。

さらに、地図や地理情報システムの発展に合わせ、実践的な地理的技能の習得をめざすスキルアップのコラムや、思考力、判断力、表現力を養うよう、自ら考え、発表するアクティビティを多数取り上げました。より良い社会の実現のため、主体的に課題を追究・解決する態度を養うことができるよう留意しています。

2. 編修の基本方針（教育基本法第2条）

第1号

幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

- 世界と日本における現状や課題を平易に記述し、テーマごとに設けたコラムによって内容を深く掘り下げ、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにしました。
- 世界の人々の生活や文化など暮らしを感じさせる写真や紹介コラムを多く掲載して豊かな情操を培うとともに、自然、社会と人間とのかかわりの中から道徳心を養えるようにつとめました。
- 地域調査を行うにあたっては、テーマの設定から調査方法、さらに発表を行うまでの手順を示し、生徒が自ら問題点を探し出し、解決に向けた方策を導き出すことを促し、真理を求める態度を養えるようにしました。

第2号

個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

- 現在、私たちが直面しているさまざまな地球的課題や地域的課題について、多様な意見や異なる価値観を尊重したうえで解決をはかることの必要性を考えさせるようつとめました。
- 国による経済発展の違いや南北の格差、途上国における劣悪な労働環境の現状を理解させることで、どのようにしたら世界の人々が等しく幸福を享受できるかについて、考えさせています。

第3号

正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

- 世界各地にはさまざまな民族が存在し、また、文化・宗教など多様な価値観があるなかで、誰もが等しく、不利益を被ることのない社会を築くためにどのような考え方や取り組みが必要であるか、社会の形成者として必要な公民としての資質を育成することにつとめました。

第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

- 世界でみられるあらゆる生活文化は、各地域の自然的環境の影響を受けながら育まれたものですが、近年、人間の営みによってその自然的環境が良好に維持されない状況が出てきています。そのような現状を理解し、未来に向けた持続的な環境保全の必要性について考えさせています。
- 私たちの住む地球には、人間だけではなく、多様な生き物が存在しており、人間の経済活動や無秩序な行いがそうした生き物の生存に悪い影響を与えていることを理解させ、生命を尊重することの意識と態度を養うようつとめました。

第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

- 多様で豊かな自然環境に恵まれている日本は、さまざまな伝統や文化があり、それらは衣食住など暮らしのなかに脈々と受け継がれていることを理解させています。
- 世界には多様な伝統・文化・慣習があることを理解し、日本においても、今後、多様性を尊重し共生する平和的な社会を築くことができるよう、必要な知識・態度を養えるようにつとめました。
- 生徒が、これから国際社会に主体的に生きていく一人の人間として成長できるよう、国際社会における諸問題について多面的・多角的に理解し、平和的な解決に向けた方策を自ら考えていくことができるようにつとめました。

3. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
1章 地図とGISの活用	1節 地球上の世界と地図の活用	現代世界を地理的な視点から概観し、中学校の地理で既習内容である方位や時差について取り上げ、地理総合の導入として、地理学習の基礎となる地図の見方を理解させます。 第1号 国家とその領域について、基礎知識を身に付けたうえで、日本の領域をめぐる現状について、地理的・歴史的側面の双方から学習を深めるよう配慮しました。また、日本の海洋国家としての特色と海洋の果たす役割について理解を深めます。 第1号 第5号 日常生活の中でみられるさまざまな地図をもとにして、地図と地理情報システムのそれぞれの用途や役割を理解させます。さらに地理情報システムを用いて情報を収集、読み取る技能を身に付けさせます。 第1号	p.10～ 27
	2節 国家間の結びつき	国家は、互いに主権を認め合い、さまざまな国際組織を形成していることを学び、国際協調の大切さについて理解を深めます。また、人・モノ・情報が世界的にどのようにつながっているかを、さまざまな主題図の読図や作図を通して理解させ、主題図を適切に活用するための地理的スキルが身に付くよう配慮しています。 第5号	p.28～ 41
2章 生活文化の多様性と国際理解	1節 自然環境と生活文化	地形や気候など世界の自然環境について概観し、それぞれの地形や気候のもとで、人はどのような生活の工夫をしているのかを理解させます。 第1号 第4号	p.46～ 71
	2節 多文化共生社会と生活文化	世界にみられるさまざまな文化・言語・宗教について概観し、多民族・多文化社会を形成していく中で、自国の文化だけでなく、異なる文化に対しても理解・尊重することの大切さを取り上げています。 第3号 第5号	p.72～ 91
	3節 産業の発展と生活文化	農業・工業・商業など産業の営みについて、世界の人々の生活文化が、地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持っていることを、地域事例を通して理解させています。人物の写った写真を豊富に掲載し、生活文化とのかかわりについて理解を促します。 第1号 第2号	p.92～ 111

2章	4節 グローバル化の進展と生活文化	グローバル化によって人・モノ・情報の交流が進み、世界中で生活文化が均質化・画一化していくことを理解させ、その一方で各地で培われた固有の文化が失われていくグローバル化の弊害にも気づかせます。国際社会や経済のグローバル化の動きとともに、固有の文化を守る取り組みや協力も重要であることを理解させます。 第3号	p.112 ～ 127
	1節 人口問題	人口増加地域と人口停滞地域では、それぞれ異なる課題をかかえており、その課題と解決に向けた方向性を示しています。日本における少子高齢化や人口減少の現状を認識させ、どのような取り組みが必要かを考えさせます。 第3号 第4号	p.132 ～ 143
3章 地球的課題と国際協力	2節 食料問題	世界全体でみると十分に生産されているはずの食料が、一方では不足し、一方では過剰になっている現状について事例とともに取り上げ、解決の方向性について考えさせます。 第3号 第4号	p.144 ～ 153
	3節 居住・都市問題	都市への人口集中により発生するさまざまな問題について、世界都市と、一極集中により弊害がおきている途上国の都市を取り上げ、理解を促します。さらに、居住環境の改善に向けた事例を取り上げ、より良い暮らしをするために何が必要かを考察させます。 第2号 第3号	p.154 ～ 163
	4節 資源・エネルギー問題	鉱物・エネルギー資源の特徴や、資源の有限性・偏在性について理解させるとともに、鉱物資源のリサイクルや、再生可能エネルギーの活用により環境への負荷を減らす可能性を幅広く紹介し、持続的に資源を利用するための方向性について具体的に考えさせます。 第1号 第4号	p.164 ～ 173
	5節 地球環境問題	地球温暖化、熱帯林の減少、砂漠化について、写真・地図・模式図とともに取り上げ、これらが緊急な対策が必要であることを理解させます。地球規模の課題を他人事とさせないよう、海洋へのプラスチックゴミの流出など生徒の身近な話題を切り口に、地球的課題が生活場面にも関係していることに気づかせます。 第2号 第4号	p.174 ～ 183
	1節 自然環境と防災	人間と自然環境との相互依存関係などに着目しながら、風水害、火山の噴火、地震・津波などの自然災害について体系的に学習します。自助・共助・公助の精神をもち、自然災害への備えと対応を理解させます。ハザードマップや各種の地図を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせます。 第3号 第4号	p.188 ～ 209
4章 生活圏の諸課題	2節 持続可能な地域づくり	これまでに学習してきたことをふまえ、自らの生活圏における地理的な課題について、持続可能な地域づくりを進めるための方法を考えさせます。課題の解決に向けた手法を丁寧に説明し、どの地域においても生徒が応用できるように一般的な記述にしています。 第2号 第5号	p.210 ～ 219

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 見開きごとにテーマを設定し、関連する主題図・写真・設問・用語解説・コラムなどを有機的に配置しました。生徒の学習意欲が高まるよう、ページの冒頭に発問を設け、学習目的を明確にしています。
- 大判紙面に、資料性の高い図や写真をダイナミックに配置しました。文章の表現を丁寧にわかりやすくするとともに、振り仮名を豊富につけることにより、紙面を読みやすく構成しています。
- 全般にわたり、世界、日本、地域について多様で幅広い題材を扱うことで内容を充実させ、知識の修得を確実に行えるようにしました。
- 学習内容を相互に補完できるよう、関連ある用語や内容には該当箇所を示す参照ページをつけました。世界的な概論のなかで扱う内容と地域事例のなかで扱う内容を、円滑に参照しあえるようにしています。
- カラーユニバーサルデザインを考慮し、色覚特性を持った生徒にもわかりやすいものとなるよう紙面の色使いに配慮しました。また、文字をはっきりと読み取ることができるようユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受 理 番 号	学 校	教 科	種 目	学 年
106 - 102	高等学校	地理歴史	地理総合	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
81 山川	地総081 - 902	わたしたちの地理総合 改訂版		

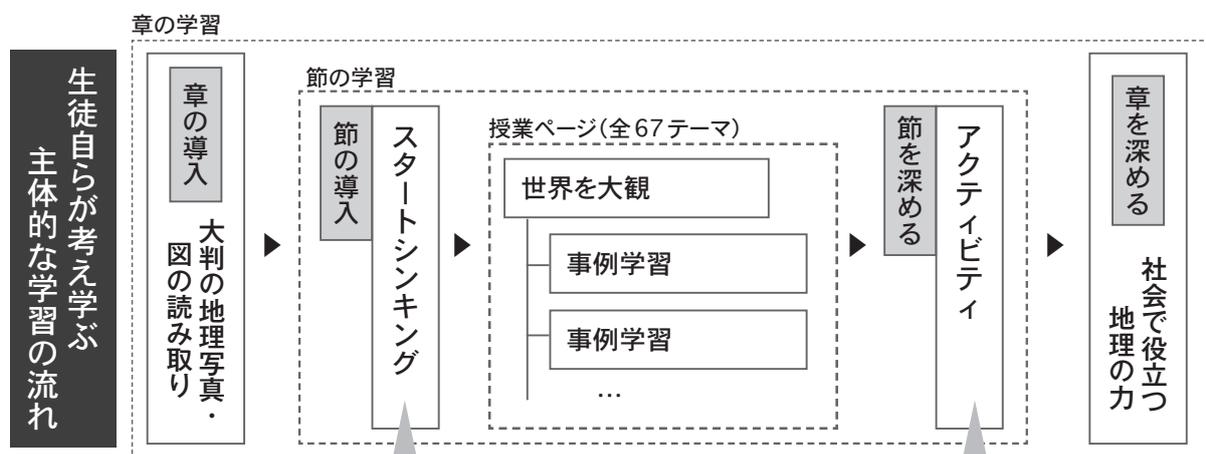
1. 編修上 特に意を用いた点や特色

世界や日本, 地域社会の特色や現在かかえている課題について理解を深めるとともに, 高等学校の必修科目として未来の社会を担う力を育むよう, 以下の点に力を入れて編修しました。

本書の特色	<ul style="list-style-type: none"> ① 主体的な学習に向け, 節冒頭で興味関心を高め, 節末で学習を発展させるページを設定。 ② 各分野に世界スケールで大観する学習と, 事例を通じ具体的に考察する学習を適切に配置。 ③ 1見開き1授業を想定し, 学習内容を貫く大きな問いのもと, 導入からまとめまで授業の流れを設定。 ④ 世界の多彩な生活文化や, 世界で今おきている課題を, リアルに感じ考えさせるコラムを充実。 ⑤ 1章「地図とGISの活用」で獲得した地理的技能が深まるよう, 技能コラムや活用例を配置。
--------------	---

特色① 主体的な学習に向け, 節冒頭で興味関心を高め, 節末で学習を発展させるページを設定。

地理的な見方・考え方にもとづき, 生徒自らが主体的に学習できるよう, 各章・各節に主題を設定しています。導入部には, その単元の学習内容に関連する資料と, 単元を貫く問いを掲載し, 単元の最後には, 学習した内容を活用し, 自ら考え, 対話を行うページを設定しました。特設ページを設け, 主題に沿って学習を深めていけるよう全体を構成しています。



スタートシンキング (全 10 テーマ)

各節の冒頭に, その分野の学習の糸口となる写真や資料を掲載しました。生活写真を組み合わせたり, 1ページ大のグラフなどを用いたり, 「なぜだろう」「どうしてだろう」と考えるところから, 節の学習が始まります。

例) 世界の自然環境に合わせた保存法は?
Tシャツはどこからきてどこへいく?



アクティビティ (全 13 テーマ)

節で学習した「知識」や「見方・考え方」を働かせて取り組むページです。さまざまなアクティビティ手法を用い, ペアやグループでの対話や発表を通じて, 自分の考えを深めまとめさせます。

例) フォトランゲージ: 自然環境と住居
ケーススタディ: 外国の人々との交流
ディベート: ショッピングセンターの来店

特色② 各分野に世界スケールで大観する学習と、事例を通じ具体的に考察する学習を適切に配置。

① 学習指導要領の構成に沿い、全部で67テーマの授業ページを設定しました。各分野の学習では、世界全体から大観する学習と、地域事例など具体的な例を通して現状への理解を深める学習を適切に組み合わせています。地域の設定においては、地理的事象が特徴的にあらわれる地域を選定するとともに、1地域に留めず、地域による違いを比較し要因や特性を捉えることができるよう、複数の地域を設定しました。

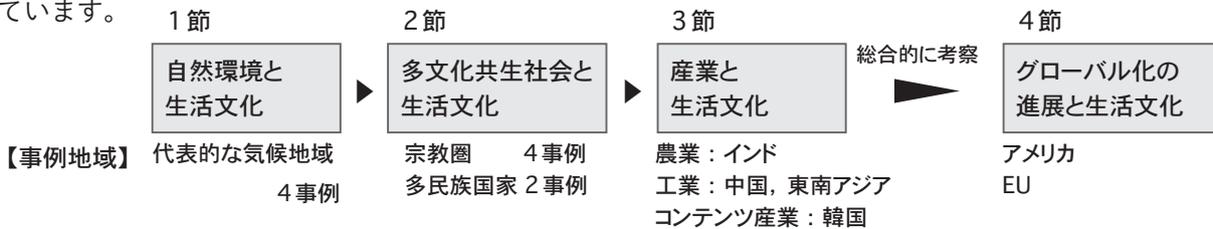
例1) 気候の単元では、まず、世界全体の気候現象やそのなりたちを学習した後、特徴ある地域を事例に設定、気候に応じた植生や生活文化、変化の状況を学びます。乾燥帯や温帯のなかでも地域差のある地域を取り上げ、比較することから考察できるようにしています。

世界の気候	大観	地球上の気候のなりたち	【事例地域】
	事例	暑い気候に対応した生活	アフリカの熱帯地域
	事例	乾燥した気候に対応した生活	サウジアラビアとモンゴル
	事例	季節の違いに対応した生活	大陸の東岸と西岸
	事例	寒冷な気候に対応した生活	シベリア

例2) 居住・都市問題では、都市に人口が集中する世界的な動きを学習したあと、集中による都市問題と再開発の進行の2テーマを、どちらも2地域ずつ取り上げ、各地域の課題と対策について取り上げます。

居住・都市問題	大観	都市への人口集中は何を生んだか?	【事例地域】
	事例	人口集中による都市問題	メキシコシティとジャカルタ
	事例	都市の再開発	ロンドンとニューヨーク

② 2章の国際理解では、「自然環境」「多文化共生社会」「産業の発展」の学習後に、「グローバル化の進展」としてアメリカとEUを取り上げます。自然・文化・産業を総合的にとらえるとともに、世界への影響力や国際情勢とその課題についても考察させ、3章「地球的課題と国際協力」の学習につながるよう構成しています。



③ 世界全体をバランスよく学習できるよう、地域事例を適切に選定しました。



特色③ 1見開き1授業を想定し、学習内容を貫く大きな問いのもと、導入からまとめまで授業の流れを設定。

① 1時間の授業を想定し、授業ページの紙面を統一しました。「問い」を軸に展開させることで、授業のなかで「主体的な学習」を実現させます。生徒自らが興味・関心をもち、取り組むよう、紙面を構造化しています。

4章1節 グローバル化の進展と課題① アメリカ(p.114-115)

A 見出し：学習の主題が明確になるよう、学習内容全体を貫く問いかけを設定しました。

例) 「アメリカの多様性はどのようにして生まれたか？」
「脱石油・脱炭素社会をどのように実現していくか？」

B 学習の流れ：1授業時のなかで、「何を読み取り」「確認し」「考え」「調べるか」。このページでの学習内容を、2～3ステップに分けて明示しています。

C 導入の問いかけ：ページ冒頭に、授業の導入となる問いかけを設定しています。生徒からの「なぜ」「どうして」などの素朴な疑問や、先生との対話をきっかけに、まず自分で考えることから学習が始まります。

例) 「宗教が同じでも暮らしに違いがあるのはどうしてだろう？」
「身のまわりに東南アジアで生産されたものがあるか、探してみよう」
「韓流音楽や映像をよく見かけerようになった背景には何があるだろう？」

D まとめよう：ページの最後に、授業を振り返り、自分の言葉でまとめたり、さらに調べて考察させる問いかけを設定しました。

E 紙面の補足：授業の展開が多面的に膨らむよう、細かな問いかけや資料提示などを補足しています。

- 世界遺産マーク 世界遺産に登録されている写真に付加しています。
- 経緯度でジャンプ 地球儀ソフトや地理院地図などで写真の撮影地点を検索できるよう緯度経度を掲載しています。
- 地図帳 地図帳で確認させるポイントを示し、教科書の内容を発展させます。
- 豆知識 おもしろい雑学や裏事情など、トリビア的な情報を掲載しました。
- Try/Work/読み解り 内容を読み取ったり、作業したり、作業をもとに考察したりさせます。
- QRコード 授業を充足する動画や地図へジャンプ。自分で調べる情報源としても有効です。

特色④ 世界の多彩な生活文化や、世界で今おきている課題を、リアルに感じ考えさせるコラムを充実。

コラム種類	テーマ数	趣旨	例
	51	本文の内容を補足・発展させる，地理ならではの面白い話題を取り上げ，知識を広げます。	最も早く新年を迎える国 1×2×3で6次産業化 日本の中小企業の技術力 現代版シルクロードをめざす「一带一路」構想 EU加盟を人々はどうかとらえているか？
	11	世界の特徴的な生活文化を紹介します。衣食住という身近な視点から，国際理解を深めます。	湧水の利用 キャッサバレシピのあれこれ ブナと竹の活用 寒さを乗り切る工夫「バーニャ」 消滅危機言語 ロマンシュ語 EUのご当地グルメを守れ！
	11	日本と世界のつながりを紹介します。特に，地球的課題の章では，実際に活動している日本人や技術を紹介し，世界との関係を考察します。	東南アジアへの日本企業の進出 韓国における日本文化の開放 外国人と暮らす町 日本人による灌漑事業協力 砂漠緑化への日本の技術協力
	7	持続可能な社会に向け，自分たちにできることを提案します。SDGsの17目標のカードも掲載し，国際貢献についての理解を深めます。	模擬国連にチャレンジ 世界を救う？ 植物肉と昆虫食 フェアトレード認証ラベル 普及が進むシェアサイクル 自分の電気は自分で選ぶ 温暖化ストップにできること

特色⑤ 1章「地図とGISの活用」で獲得した地理的技能が深まるよう，技能コラムや活用例を配置。

地理のスキルアップを19テーマ，設定しました。

- 大判の紙面を活かし，図やグラフの読み取りや，作図がしやすいよう配置しました。地理的な技能を，様々な修得・活用の場面を通して身につけられます。
- 地理院地図や地球儀ソフトなど，スマートフォンやタブレットで使えるウェブGISについて，基本操作や実際の例を紹介しています。QRコードを掲載し，読み込んでそのアドレスにジャンプし，自分で確認できるようにしています。
- GISソフトの実践例を1章に配置し，慣れ親しみ，有用性を体感するところから，後続の節で，自ら調べたり，発表したりできるように配慮しています。

地理のスキルアップ

- ① 「海しる」を使ってみよう
- ② デジタル地図(Web GIS)を使ってみよう
一京都東山と新横浜駅周辺を例に
- ③ さまざまな統計地図をみてみよう
- ④ RESASで分析する外国人観光客
- ⑤ 地形図を読む① V字谷の暮らしと土地利用
- ⑥ 地形図を読む② 扇状地の暮らしと土地利用
- ⑦ 地形図を読む③ 氾濫原の暮らしと土地利用
- ⑧ 海図を読む リアス海岸の暮らしと土地利用
- ⑨ 世界の気候区分を大観し，雨温図を描いてみよう
- ⑩ 米と小麦の生産地と輸出国の違いをみてみよう
- ⑪ 農作物の栽培条件をみてみよう
- ⑫ 人口ピラミッドの読み方
- ⑬ 「地形分類」でみる盛土と切土
- ⑭ 土砂災害の危険を地図から読み取ろう
- ⑮ 水害の危険を新旧地形図の比較から読み取ろう
- ⑯ 津波からの避難を考えよう
- ⑰ グラフで調査「統計ダッシュボード」
- ⑱ 景観観察と聞き取り調査
- ⑲ 調査の発表の方法

2. 対照表

教科書の単元構成		該当箇所	配当時数	学習指導要領の内容		
1章 地図とGISの活用	1節 球面上の世界と地図の活用	1,2 球面上の世界と地図/時差と生活	10~13	1	A(1) 地図や地理情報システムと現代世界	
		3 世界地図でとらえる地球	14~15	1		
		4,5 国家の領域と海洋の役割/日本の位置と領域	16~19	1		
		6 身のまわりのさまざまな地図	20~23	2		
		7 地図とGIS	24~25	1		
	2節 国家間の結びつき	1 国家群による結びつき	30~33	1		4
		2 貿易による結びつき	34~35	1		
		3 交通・通信による結びつき	36~37	1		
4 観光による結びつき		38~39	1			
2章 生活文化の多様性と国際理解	1節 自然環境と生活文化	1 地球上の地形のなりたち	48~49	1	8	
		2,3 山地と平野の生活/海岸部の生活	50~57	2		
		4 地球上の気候のなりたち	58~61	1		
		5 【事例】 アフリカ 暑い気候に対応した生活	62~63	1		
		6 【事例】 サウジアラビア・モンゴル 乾燥した気候に対応した生活	64~65	1		
		7 【事例】 大陸の東岸と西岸 季節の違いに対応した生活	66~67	1		
		8 【事例】 シベリア 寒冷な気候に対応した生活	68~69	1		
		2節 多文化共生社会と生活文化	1 世界の宗教	74~75		1
	2 【事例】 仏教圏の生活文化		76~77	1		
	3 【事例】 キリスト教圏の生活文化		78~79	1		
	4,5 【事例】 イスラーム圏の生活文化/イスラーム圏の地域性		80~83	2		
	6 世界の言語		84~85	1		
	7 【事例】 ラテンアメリカ諸国 植民の歴史と生活文化		86~87	1		
	8 【事例】 オーストラリア 多文化共生の実現		88~89	1		
	3節 産業の発展と生活文化		1 農業の地域性	94~97	1	7
		2 【事例】 インド 農業と生活文化	98~99	1		
		3 工業の発展	100~101	1		
		4,5 【事例】 中国 工業の発展による変化①②	102~105	2		
		6 【事例】 東南アジア 工業の発展と国際分業	106~107	1		
		7 【事例】 韓国 脱工業化の動き	108~109	1		
		4節 グローバル化の進展と生活文化	1~3 【事例】 アメリカ グローバル化の進展と課題①②③	114~119	3	
	4~6 【事例】 EU 地域統合による変化①②③		120~125	3		
	3章 地球的課題と国際協力	1節 人口問題	1 世界の人口問題	134~135	1	4
			2 【事例】 インド・スウェーデン 自然増減にかかわる人口問題	136~137	1	
			3 人の移動と難民問題	138~139	1	
			4 【事例】 日本 少子高齢化と人口減少	140~141	1	
		2節 食料問題	1 世界の食料問題	146~147	1	3
			2 世界の水問題	148~149	1	
3 【事例】 アフリカ 食料不足の問題			150~151	1		
3節 居住・都市問題		1 世界の居住・都市問題	156~157	1	3	
		2 【事例】 メキシコシティ・ジャカルタ 人口集中による都市問題	158~159	1		
		3 【事例】 ロンドン・ニューヨーク 都市の再開発	160~161	1		
4節 資源・エネルギー問題		1 エネルギー資源の産出・消費と課題	166~167	1	3	
		2 【事例】 南ア共和国・オーストラリアなど 鉱物資源の産出と消費	168~169	1		
		3 再生可能エネルギーへの移行	170~171	1		
5節 地球環境問題		1 地球温暖化	176~177	1	3	
		2 【事例】 アマゾン・東南アジア 熱帯林の減少	178~179	1		
	3 【事例】 サヘル・アラル海 砂漠化の進行	180~181	1			
4章 生活圏の諸課題	1節 自然環境と防災	1,2 日本の地形と生活/日本の気候と生活	188~191	2	6	
		3~5 気象災害/火山/地震・津波と防災	192~203	3		
		6,7 都市特有の災害と防災/防災・減災への心構え	204~207	1		
	2節 持続可能な地域づくり	1 生活圏の課題の発見	210~211	1	4	
		2~4 【事例】 尾鷲 事前調査/現地調査/まとめと考察	212~217	3		
			配当時数	65		